

授業のUD研究
中国支部例会

第56回子どもの学びを創る会



14:00~14:10 開会行事

14:10~14:45 話題提供

「自覚的な学びを創る試み ツイート・ノートの取組」
子どもの学びを創る会 芝田秀樹, 飯田将之, 木脇淑子
(休憩)

15:00~16:50 講話「算数授業のユニバーサルデザイン」

指導者 長門市教育委員会
指導主事 伊藤 幹哲 先生

16:35~16:40 閉会行事

※お願い スタッフ以外の写真撮影やビデオ録画, 録音はご遠慮ください。

子どもの学びを創る会/授業のUD研究中国支部

UD授業づくりの5つの留意点

1 UD 3 要件が目的になっている授業

2 UD授業はあくまで手段

3 教科の本質につながる授業UD

4 目の前の子どもにふさわしい授業UD

5 UD授業は学級経営と一体

授業UDの「三段構え①~③」の指導

授業UD化の3要件

- 1 授業のねらいや学習内容を焦点化し、絞り込む。(焦点化 シンプル)
- 2 視覚的な資料などを用い、課題解決を助ける。(視覚化 ビジュアル)
- 3 みんなで考え、理解できるようにする。(共有化 シェア)

①指導の工夫

一斉授業内

必要に応じた個別の配慮

②個別の配慮

③個に特化した配慮

授業時間外

障害の有無にかかわらず子どもに「合理的に配慮する」(UD)

障害のある子に対する「合理的配慮」

【提案】

子供主体の自覚的な学びを創る試み



子どもの学びを創る会
芝田・飯田・木脇

危惧している授業の様子

- 局所的・対処療法的な指導傾向
- 教師主導スタイルの授業の多さ
(初めにめあてありきの授業)
- 本時の位置付けが曖昧な授業
(単元をデザインする力)
- 問題解決型の授業の敬遠
- 大胆・独創的・開発的な授業の減少
(無難な授業, 提案性がない研究授業)

授業が危ない

危惧している子供の学校生活

- 指示されたことや与えられたことはする。
- 「自分で考える・つくる・切り拓くこと」の経験が少ない。
- 学級や学年での問題解決の経験が少ない。
- 他者の言動には敏感だが、自分の言動は不用意なことがある。
- 打たれ弱い。我慢の限界域が狭い。
(レジリエンス“折れない心”の育成)

自発・自治能力の育成

子供主体の自覚的な学びの創造

教えたいことが学びたいことに変換される授業
子供のアイデアや見方・考え方が反映する授業
子供自身が学ぶ意味や成長を常に確認できる授業

教えるプロから学びづくりへのプロに

教師がつくる ↔ 教師と子供がつくる ↔ 子供がつくる

指導計画の更新と学習計画

Tweet・ノート※による自覚的な学びづくり

※ Tweet(つぶやき)をノートする

思いや考え, 自問自答・自己内対話

◇ 予習・復習, 授業中の際に, 教科書やノート等にツイートを書かせる。

【仮説】

- ツイート自体が学習を自分事に行うことができる。
- ツイートを学習計画に活かすことができる。
- 子供一人ひとりの「わかりたい, できるようになりたい」という意識を把握できる。
- 「わからなさ」の段階を把握することができ, 個別指導に役立てられる。
- 自己評価を可能にし, 成長を振り返ることができる。

実践 1

自覚的な学びを創るツイト・ノートの具体
－社会科の実践から－

深川小学校 6年 飯田将之

実践 2

ツイト・ノート 音楽科における実践

深川小学校 音楽専科 木脇淑子